各　位

成逸住民福祉協議会　会長　小森　裕
成逸消防分団　分団長　辻　良雄
成逸自主防災会　会長　牧本晴男

## お知らせとお願い

前略、平素より地域住民福祉活動にご協力ご支援を頂きまして誠にありがとうございます。
　さて、皆様ご存知でしょうか？火災原因の第一位が放火になったことを！
成逸住協は以前より活動目標に福祉の街づくりと防災・防犯の街づくりを挙げていますが、今年度の防災・防犯の重点活動として、夜間に住宅の玄関外灯を点け、地域に暗いところをなくし防犯に努め、明るく温かみのある街づくりを計画したところ、活動の効果が非常に期待できるとして京都新聞市民版に大きく取り上げられました。

**成逸学区の皆さん**
**玄関外灯の夜間点灯にご協力をお願いします。**
**街を明るくして犯罪を防ぎましょう。**
**住居の周辺には燃えやすいものを置かないように気を付けて下さい。**

# 玄関灯で街頭犯罪防げ

## 上京・成逸学区、自治会役員らパトで訴え

### 「自分のまち 自分で守ろう」

玄関先の屋外灯を深夜に点灯することで、ひったくりなどの街頭犯罪を防ぐ取り組みが、京都市上京区の成逸学区で行われている。街灯ではカバーできない場所を明るくして、犯罪を抑止するのが目的。「自分のまちは自分で守るという気持ちを広げたい」と、自治会役員らが夜にパトロールして、まち全体のライトアップを呼びかける。

### 住民ら連帯感深める

西陣署によると、成逸、宮頭交番管内は今年一―六月までの刑法犯認知件数は七十七件で、ひったくりや車上狙いなどの街頭犯罪が六割以上を占める。

そんななか、同学区の住民福祉協議会は「市に街灯設置を要望しても時間がかかる。住民が簡単にできる防犯法はないなど三学区を管轄する大か」と、玄関にある屋外灯に着目した。

地区内の約千二百世帯を調査したところ、ほとんどの家の玄関ドアの上にライトがあったが、夜中に点灯しているのは三分の一ほど。このため、今年七月から各自治会長を通じて「電気代も安価なので、協力してください」と、地蔵盆や集会の場で各家に依頼。今後は特に暗い場所を調べ、周囲の家に点灯を呼びかけるという。

同会の飯田修蔵会長（六八）は「取り組みを通じ、住民の連帯感を深め、地域を安全でぬくもりのあるまちにしたい」と話し、西陣署生活安全課は「泥棒が一番嫌うのは光と音。効果は期待できる」と歓迎している。

玄関先の屋外灯の点灯で街頭犯罪の防止を訴える自治会役員ら（京都市上京区）